

『経済倫理=あなたは、なに主義?』

アンケート結果 2015-2

橋本努 Hashimoto Tsutomu

■ 北海道大学大学院経済学研究科、講義「経済思想」でのアンケート結果です。(2015年6月実施)

リベラリズム 53名  
近代卓越主義 32名  
新自由主義 31名  
新保守主義 26名  
平等主義 24名  
-----  
共和主義 18名  
国家型コミュニタリアニズム 16名  
耽美的破壊主義 10名  
開発主義 5名  
リバタリアニズム 4名  
地域型コミュニタリアニズム 4名  
市民的コミュニタリアニズム 2名  
マルクス主義 1名  
地域コミュニタリアン・アナキズム 1名

合計 227名

今回のアンケートで一番支持された立場は、「リベラリズム（福祉国家型）」でした。二番目と三番目に支持された立場はほぼ同数で、「近代卓越主義」と「新自由主義」でした。第四、第五に支持された立場もほぼ同数で、「新保守主義」と「平等主義」でした。

2013年の講義におけるアンケート結果では、「新保守主義」と「リベラリズム」がほぼ同数で最も支持されました。そのときの分析で私は、この二つのイデオロギーの対立に基づく二大政党制が可能なのではないか、と書きました。

しかし今回のアンケート結果では、「リベラリズム」への支持が、他の思想への支持よりも一つ抜きんでています。「リベラリズム」を追う対抗イデオロギーは、「近代卓越主義」「新自由主義」「新保守主義」「平等主義」の混戦状態となっています。二年前と比べて大きく変化しました。

現在の自民党のイデオロギーが「新保守主義」であるとすれば、多くの人は、自民党とは別の（あるいはやや異なる）考え方をしているのではないのでしょうか。リベラリズムは、

政党としては民主党のイデオロギーです。あるいは社会運動体の Sealds（シールズ）に代表されるような、安保法制反対の立場です。しかし自民党は、総合的な政策集団であることによって、新自由主義や平等主義などの理念を一部取り入れ、安定多数派を構成している、とみることができるのかもしれませんが。

興味深いのは、在特会のようないわゆる「ネット右翼」の活動が、今回の安倍政権による経済成長への企てとともに、弱体化しているのではないか、という点です。ただしネット右翼の思想傾向は、広義においては「新保守主義」と多くの点で重なる、というのが私の見解です。この点については、いずれ明確に論じたいと思っています。ネット右翼とは、狭義におけるネット上の過激な動画および言論（ヘイト・スピーチを含む）と、広義における新保守主義の思想運動の組み合わせから成り立っている。すると狭義におけるその活動が衰退しても、広義においては新保守主義の興隆を支える運動になりうるかもしれません。日本における新保守主義が、今後どのような道をたどるのか。注視していきたいと思っています。

2015年12月21日

橋本努